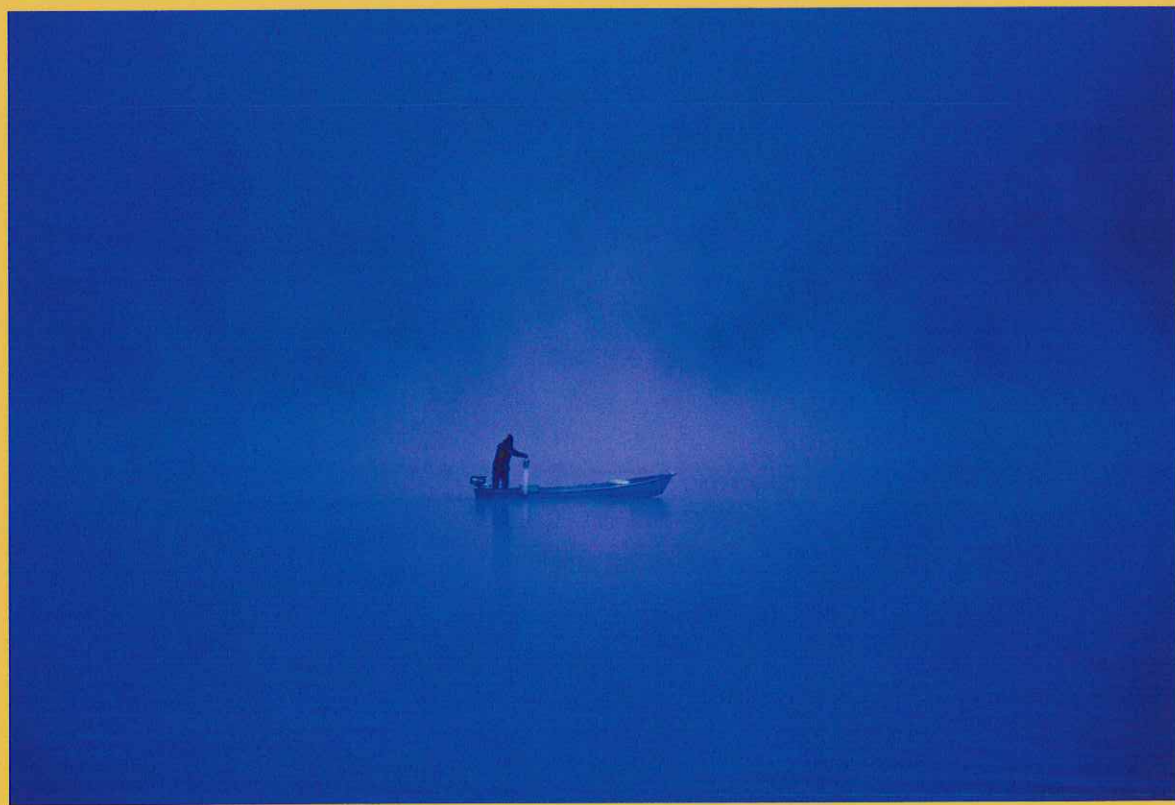


第19回現代作家展

今回は湯河原で
創作を続ける
二人の作家を紹介します



▲宮川かず美《當流猫乃六毛撰》2021年



▲山田ひろし《夜明け》1982年

同時開催

「アジア・アメリカ・ヨーロッパ」
「収蔵品展 I期」 展示室4・5

展示室1・2 (平松礼二館)

3月27日(木)~7月14日(月)



町立湯河原美術館

Yugawara Art Museum

開館時間：9:00-16:30(入館は16:00まで)

休館日：水曜日、4/22、5/27、6/24

観覧料：一般600円/小・中学生300円

※平松礼二館企画展・収蔵品展もご覧いただけます

会場：展示室3

主催：町立湯河原美術館

Vol.1 宮川かず美 木彩画展 3月27日(木)～5月13日(火)

木が持つ色合いや木目を利用して図柄を表す木象嵌(もくぞうがん)という技法に魅了され、40歳を過ぎてから制作を始めた宮川。風景画や役者絵など、初期から近年作までを展示します。

宮川かず美

1988年、東京で木象嵌に出会い、制作を始める。国内外の展覧会に出品、受賞を重ねながら個展で発表を続ける。湯河原で工房を構え、現在も繊細な作業を続けている。



▲《風のキャンパス》2009年



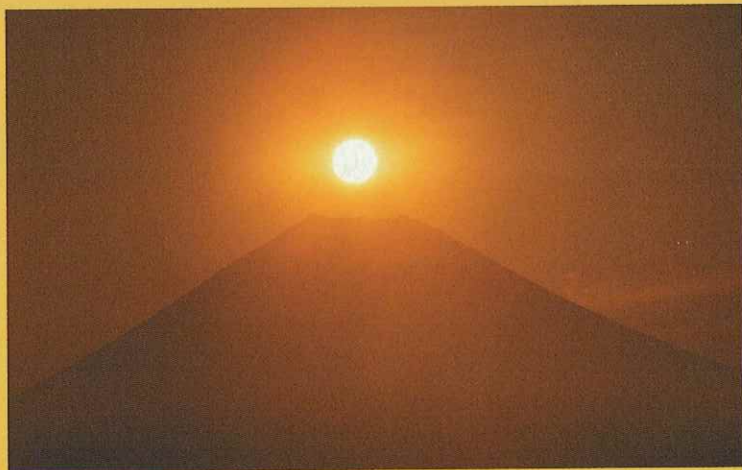
▲《三曲合奏図》2020年

Vol.2 山田ひろし写真展「心の旅路」 5月15日(木)～7月14日(月)

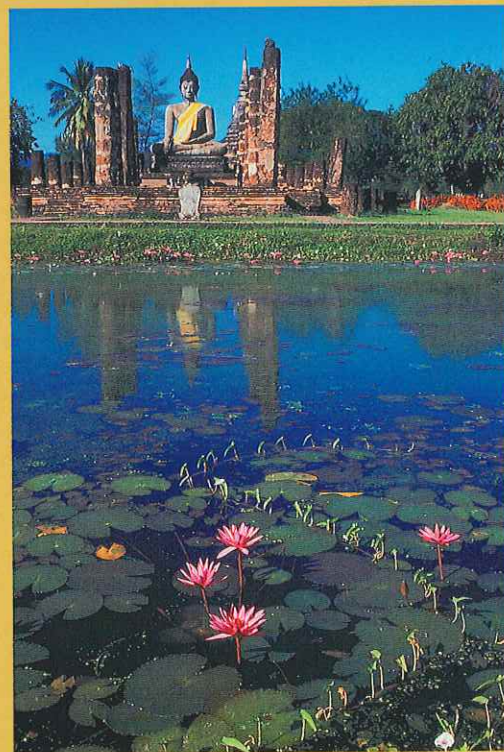
情報網と行動力、そして独自の嗅覚で瞬間を切り取ってきた写真家の50年以上に及ぶ活動の集大成となる展覧会。日本国内やアジア諸国、南米などの風景を中心に紹介します。

山田ひろし

24歳の時に湯河原に移住後、フリーの写真家としてキャリアをスタートさせる。個展開催や写真集出版などの活動とともに山田フォートプロダクションを創立し、広告企画事業も行っている。



▲《七面山から見た富士山頂の日の出》1986年



◀《ワットマハタート遺跡にて(スコータイ)》2009年



町立湯河原美術館

〒259-0314 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上623-1

☎0465-63-7788

<https://www.town.yugawara.kanagawa.jp/site/museum/>

交通案内

◆電車をご利用の場合

JR湯河原駅から「不動滝・奥湯河原」行きバスで約12分「美術館前」下車

◆車をご利用の場合

国道135号「湯河原駅入口」交差点に入り、道なりに約10分

駐車場有(入館者は無料)

